<table>
<tr><td>野中　仁
のなか　ひとし</td><td>保存科学</td><td rowspan="2">①　経歴・職歴
　（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団、県文化財保護課、県立博物館学芸員、県生涯学習文化財課、県立歴史と民俗の博物館、県立さきたま史跡の博物館、県文化資源課、県立歴史と民俗の博物館を経て県立さきたま史跡の博物館（嵐山史跡の博物館兼務）勤務。
②　過去の業務実績
　遺跡から発掘される金属製品や木製品の保存処理を実施。博物館では、収蔵資料の保存環境整備、IPM（総合的有害生物管理）システムの構築。文化財保護行政では、文化財建造物の保護・指定事務、刀剣登録事務、博物館における指定管理者管理事務、埋蔵文化財保護事務等を担当。
③　研究業績等
　H18「館内生物生息状況調査（モニタリング）報告」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要
　H18「防虫フィルム施工によるハエ目昆虫の侵入抑制効果」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要
　H19「資料保存箱等の内部空気環境について」埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要
　H19「国宝金錯銘鉄剣の貸出と最新分析」埼玉県立史跡の博物館紀要
　H29「さきたま史跡の博物館特別収蔵庫の資料保存環境について」埼玉県立史跡の博物館紀要
　H30「長瀞綜合博物館旧蔵県指定文化財「古瓦」目録」埼玉県立史跡の博物館紀要　ほか
④ メッセージ
　国特別史跡埼玉古墳群や国史跡菅谷館跡を管理する博物館で、史跡の保護と活用に携わっています。また、稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣を含む国宝の適切な保存管理に取り組んでいます。</td></tr>
<tr><td> </td><td>出土金属・木製品の保存処理
博物館環境管理</td></tr>
</table>

濱田　翠 はまだ　みどり	保存科学	①経歴・職歴 歴史と民俗の博物館 企画担当、資料調査・活用担当を経て、現在は同館　常設展示・資料担当で勤務 ②過去の実績 R6　新収集品展（歴史と民俗の博物館） ③研究業績等 「埼玉県立歴史と民俗の博物館における総合的有害生物管理（IPM）の取り組み」『博物館研究Vol.60 通巻681号』2025,公益財団法人日本博物館協会 「【報告】令和4年度・5年度の歴史と民俗の博物館の改修工事にかかる空気環境調査について」『県立歴史と民俗の博物館紀要第19号』,2025,県立歴史と民俗の博物館 「画絹の物性に及ぼす断面形状・殺蛹方法の影響－大和文華館所蔵作品調査データ含めて－」『保存科学』2019,東京文化財研究所 「法隆寺金堂壁画写真原版のフィルム支持体に関する赤外分光分析」,『保存科学』,2018,東京文化財研究所 ④メッセージ 博物館資料をより良い状態で保存していくため、収蔵庫の環境管理や資料の状態調査などを行っています。

白石　明香 しらいし　さやか	保存科学	①経歴・職歴 R6からさきたま史跡の博物館で資料・展示担当として勤務 ②　過去の実績（調査・展覧会運営・講演会等） R6　テーマ展「埼玉の遺跡　小敷田遺跡−低地集落に生きた人びと−」 ③　著作・研究実績・現在、取り組んでいる研究など 「新宮市万歳の草書体一遍上人名号碑の破片資料」『保存科学』2023 「三次元計測に基づく宝塔寺塩なめ地蔵奉納台の劣化状態評価」『文化財科学会2023年第40回大会』（ポスター発表） 「天草市・祇園橋附石造記念碑の劣化と保存」『文化財保存修復学会2022年第44回大会』 「過去の写真・三次元データを用いた薬師堂石仏の崩落の検証」『文化財保存修復学会2021年第43回大会』（紙上開催） 「高橋源吉の油彩画作品材料の化学分析−制作年代に関する一考察−」『文化財保存修復学会2016年第37回大会』（ポスター発表）　ほか ④　今年度の取り組み・抱負・メッセージ 昨年度からさきたま史跡の博物館で保存を担当しています。収蔵庫などの環境調査や資料保存などを通して、埼玉県の魅力を伝える資料をより良い状態で後世に残していけるよう、努めてまいります。